

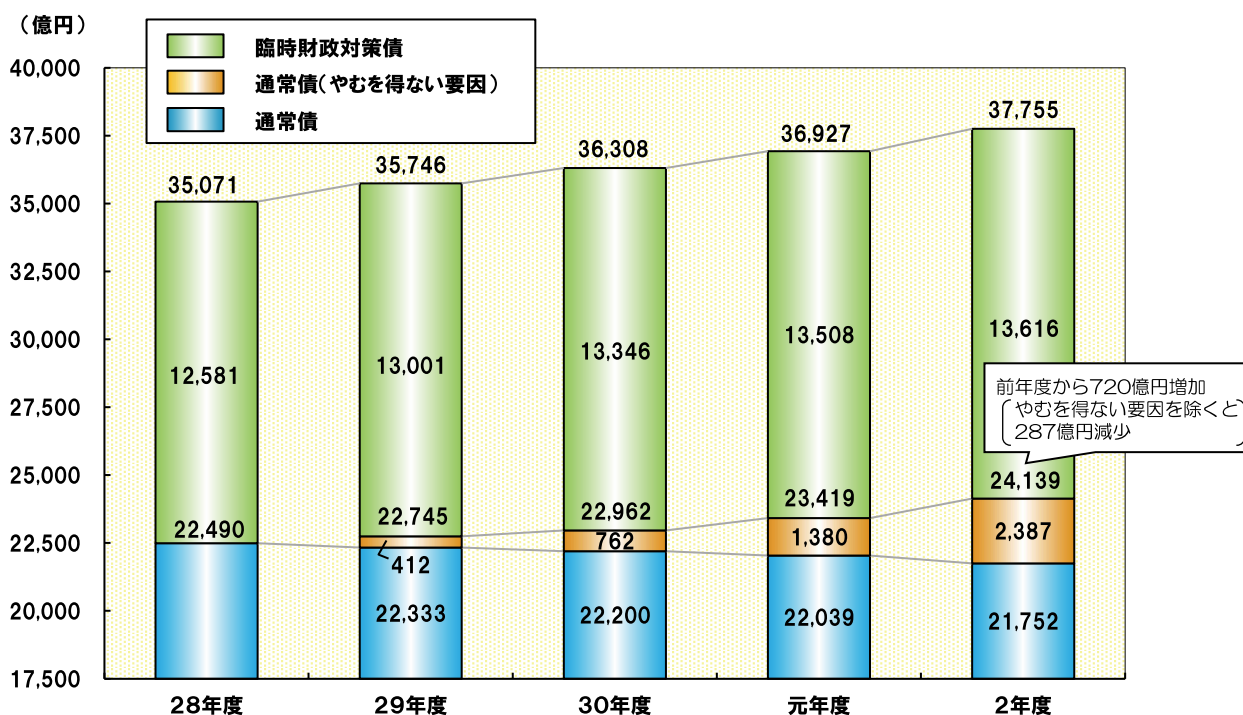
II 福岡県の財政状況

県債残高の状況

- 地方交付税の原資不足により、その振替財源である臨時財政対策債の発行を余儀なくされていることなどから、県債残高は828億円増加しました。通常債残高についても、平成29年から4年連続で発生した豪雨災害の復旧・復興対策や新型コロナの感染拡大の影響による県税の減収を補填する減収補填債の発行など、やむを得ない要因により720億円増加しました。

【参考】○やむを得ない要因…災害復旧・復興、国の補正予算、国土強靱化、減収補填への対応

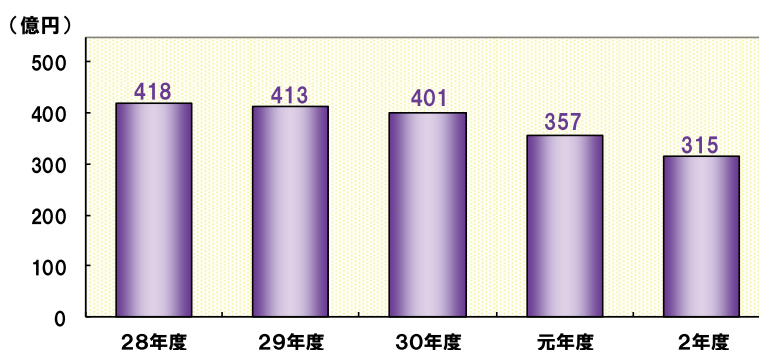
○令和2年度の県民一人当たりでみた場合の県債残高は73万6千円。
全国比較が可能な令和元年度では低い方から12番目。



財政調整基金等三基金残高の状況

財政調整基金等三基金

財政調整基金、減債基金及び公共施設整備基金からなり、年度間の財源の不均衡を調整する際などに取崩しを行います。



- 令和2年度は、新型コロナ対策の財源とするため、事業の縮小・延期等に努めたものの、人件費、公債費等が増加したことにより、財政調整基金等三基金の残高は、前年度から42億円減の315億円となり、平成以降最少となりました。

